

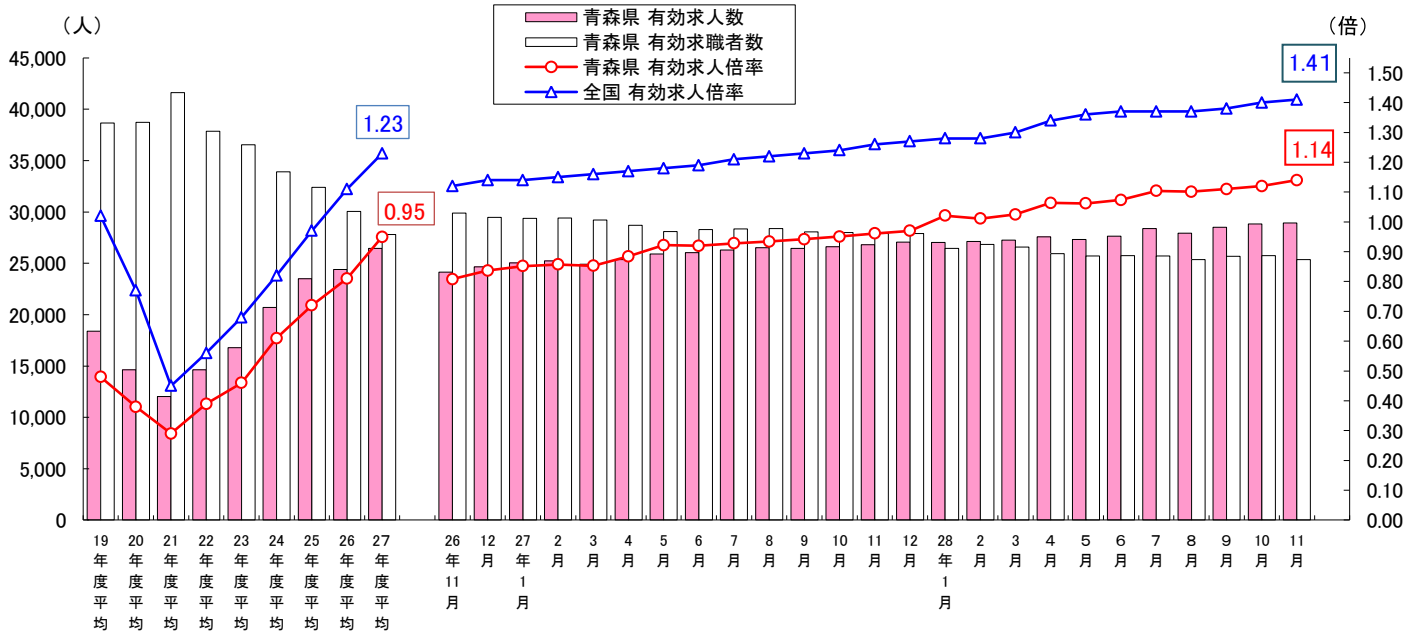
最近の雇用情勢について

(平成28年11月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.3%増加の28,929人、有効求職者数(同)は1.5%減少の25,346人で、有効求人倍率(同)は1.14倍となり、前月を0.02ポイント上回った。

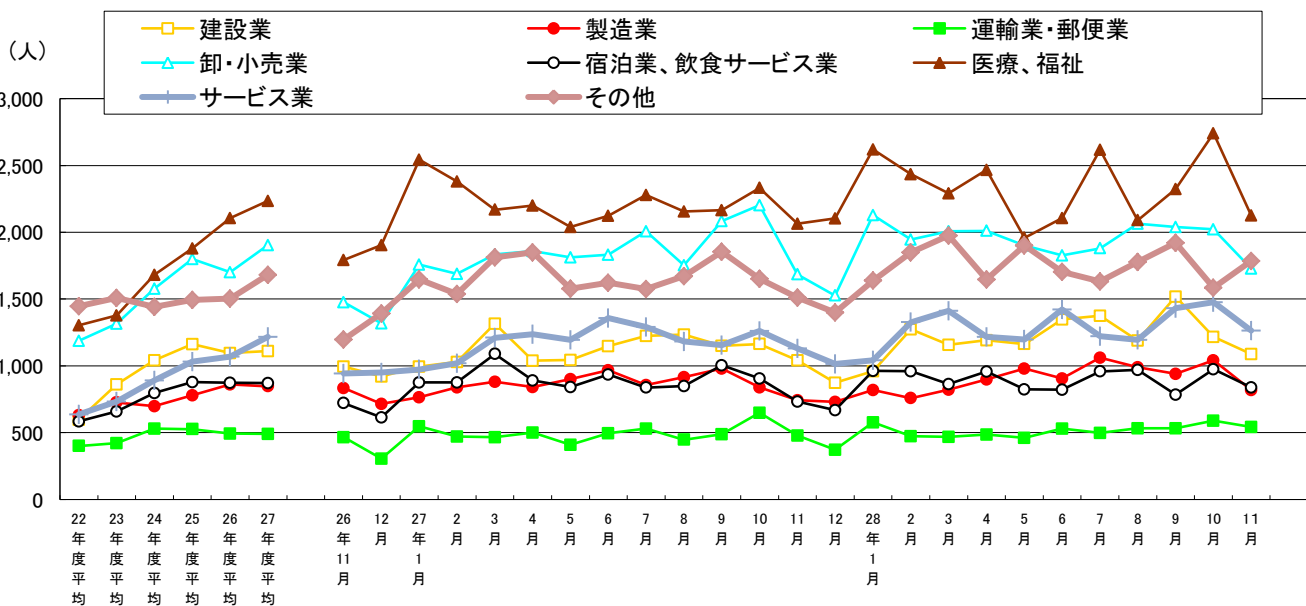


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人数(原数値)は前年同月比8.6%(803人)増加、前月比12.5%(1,454人)減少の10,193人。

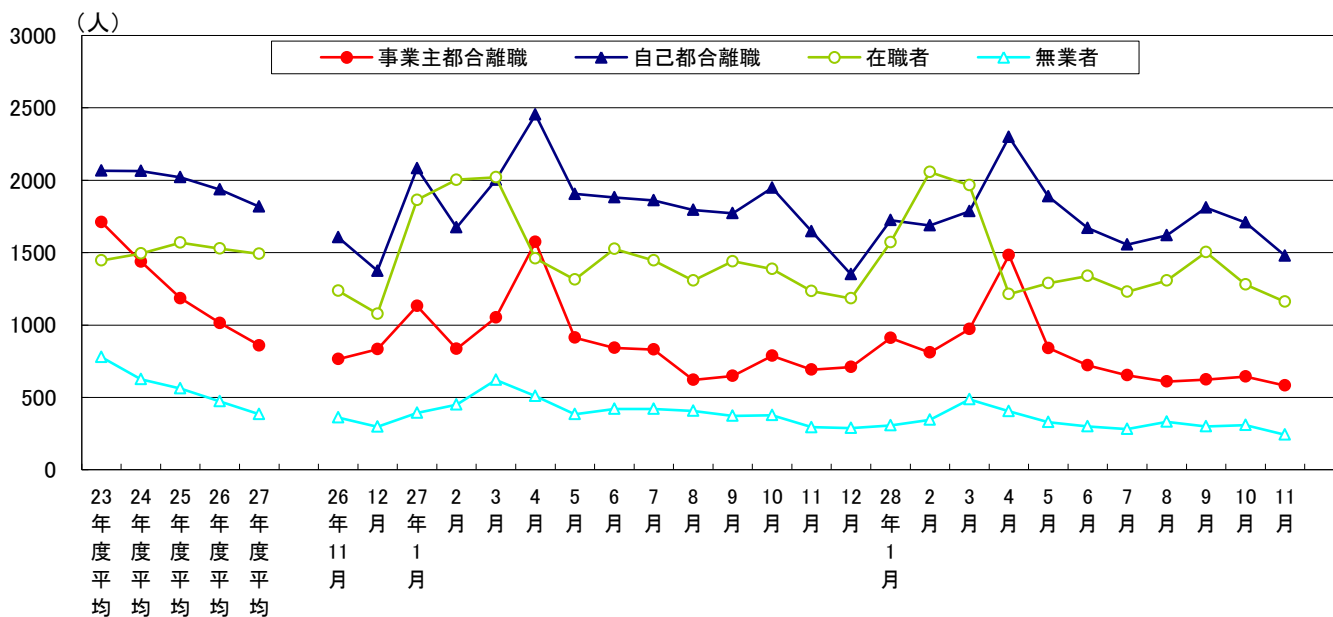
産業別で前年同月と比較すると、電気・ガス・熱供給・水道業、複合サービス事業の2産業が前年同月を下回ったものの、その他の産業は上回った。製造業では、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、繊維工業、化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック、ゴム製品等製造業、窯業・土石製品製造業、汎用・生産用機械器具製造業等で減少した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

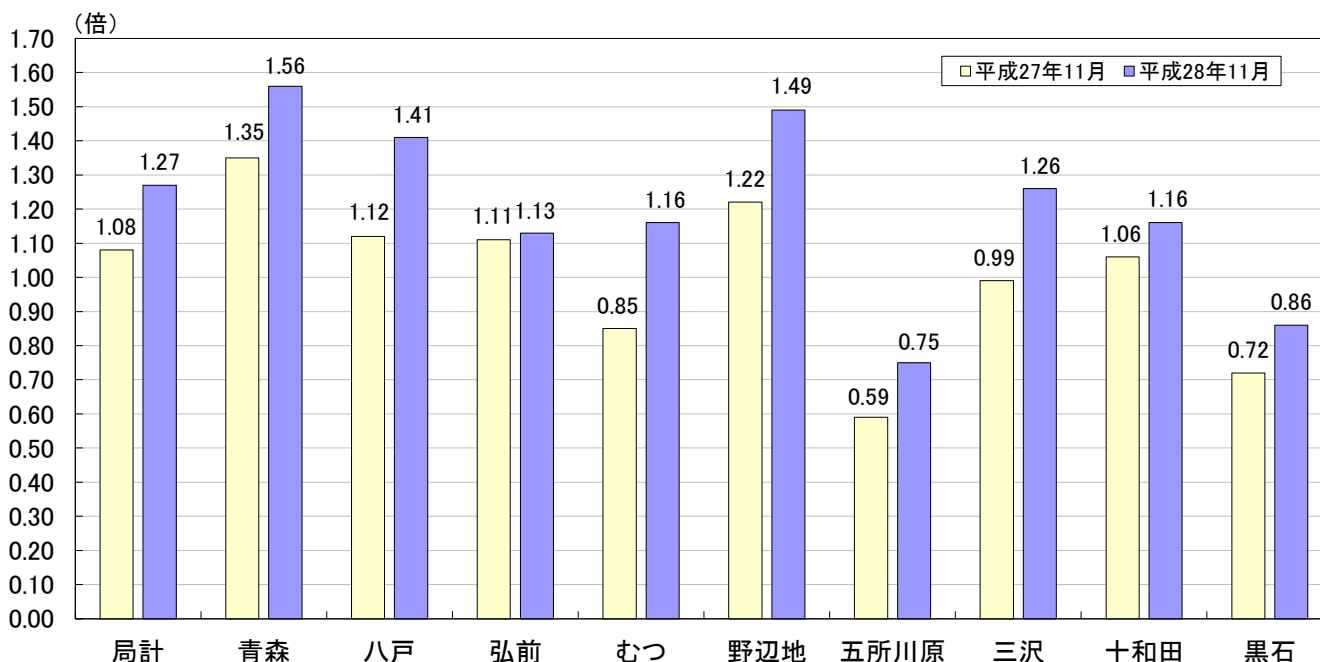
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数は、前年同月比10.5% (417人)減少、前月比11.9% (478人)減少の3,549人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は5.8% (72人)減少し、離職者は12.0% (293人)減少、無業者は17.7% (52人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は15.6% (108人)の減少、自己都合は10.1% (167人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

11月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.27倍となり、前年同月を0.19ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

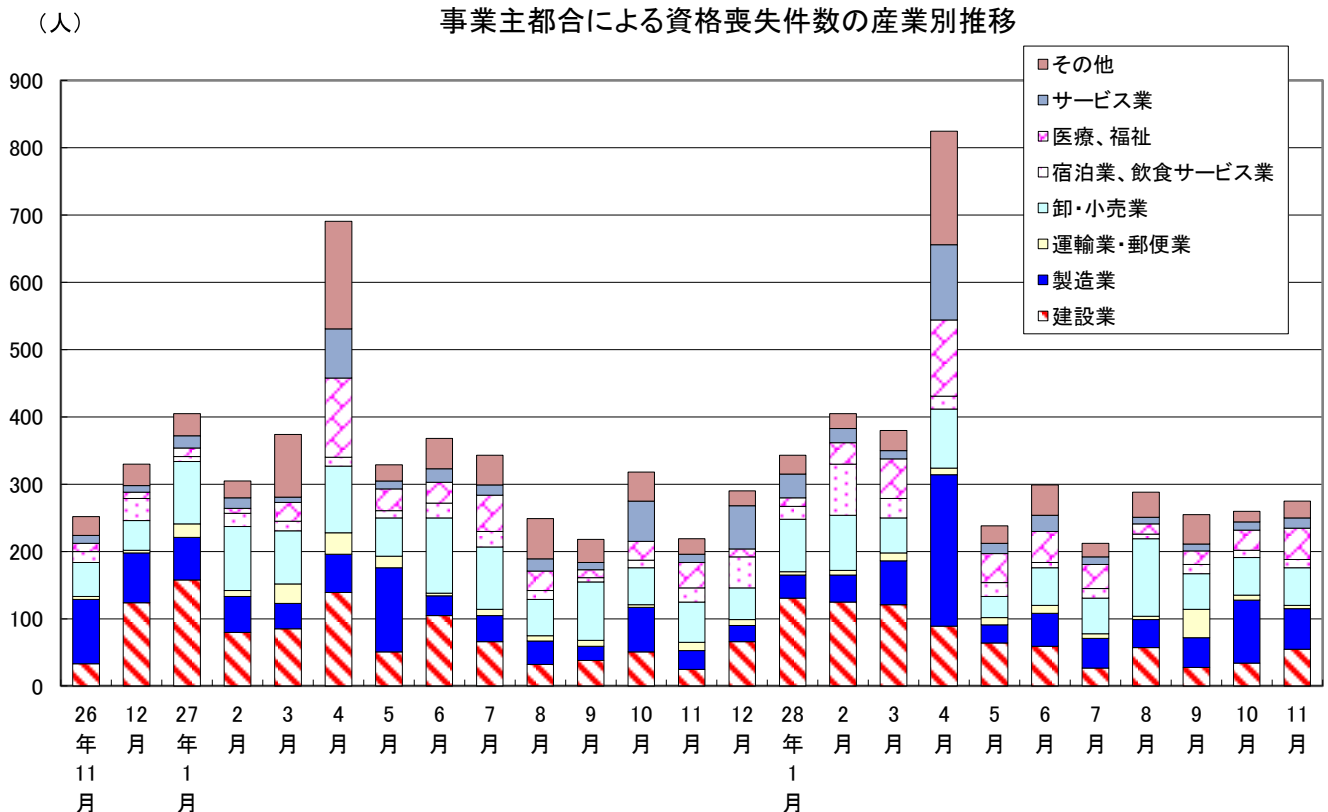
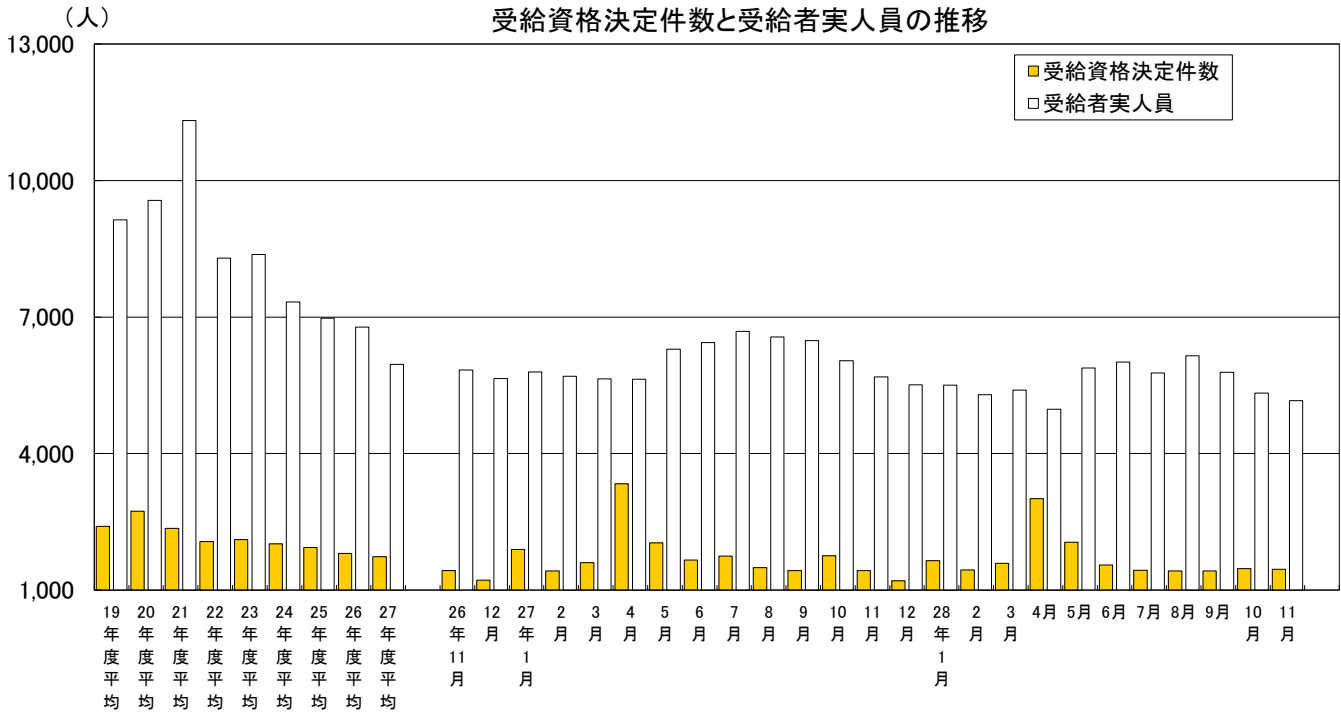


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,794	5,788	5,147	4,254	1,044	766	2,132	1,235	1,148	1,280
有効求人数	29,024	9,039	7,236	4,799	1,211	1,144	1,604	1,554	1,335	1,102

V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比9.1%（517人）減少、前月比では3.0%（161人）減少の5,166人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.7%（25件）増加、前月よりも1.3%（19件）減少し1,456件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比25.6%（56人）増加、前月比5.8%（15人）増加の275人となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。